

大正・港エリア空き家活用協議会

～DIYを活用した空き家活用を行う相談窓口～

【事業実施の背景】

- 少子高齢化により人口は減少傾向にあり、地域の活性化のため、若年世帯を呼び込む取組が必要
- 賃貸用の戸建て空き家が多い
- 比較的地価は安い、放置され、流通しない空き家が散見される

【事業の特徴】

- シェアオフィス及び大正区役所に相談窓口を設置し、相談内容に応じて役割分担
- 地域の良さを伝え、空き家と借主をマッチングする連続セミナーの開催
- DIY希望者を支援する、DIYサポーターの普及

総合相談窓口

■相談窓口の設置場所

大正区役所、港区役所の市民開放スペース、リノベ物件内、事務所内

■相談対象者(内容)

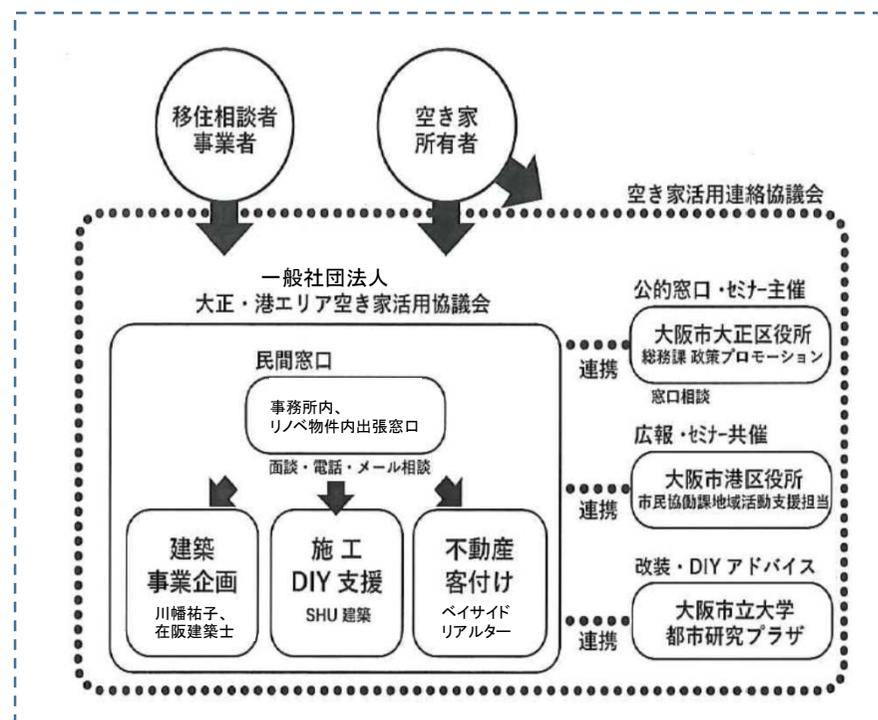
- 空き家等の所有者(修繕、活用、DIY支援等)
- 空き家等の活用を検討する事業者(融資、プランニング等)

■特徴

- 区役所やイベントなどで出張相談窓口を設置
港区事務所内で空き家の活用に関する相談
大正区役所(所有者や住民からの相談)
- 協議会メンバーで会議を月1回開催し、課題を共有
- 古い長屋の内装をDIYで改装してその仕上がりを競うDIYコンテストを開催

その他のモデル的な取組

- DIYイベント及びサポートの実施
- 個人住宅を取得し、住宅以外の事業物件として用途変更を行い、賃貸運営(予定)



事業実績(平成28年度～平成29年度)

■ 総合相談窓口

| | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----------------------------|--------|--------|
| 対象地域内に所在する個人住宅等の所有者からの相談 | 6件 | 18件 |
| 対象地域内への住替又は移住検討者からの相談 | 4件 | 22件 |
| 地域内で事業を実施しようとする利活用検討者からの相談 | 2件 | 36件 |
| その他 | 59件 | 6件 |

- 空き家活用セミナー(個別相談会)の開催(2回) 参加者数：第1回48名/第2回63名(平成28年度)
- DIYコンテスト(空き家を活用したモデル事業)の開催 参加者数:600名(平成29年度) 他

事業の成果

- 大阪市で初めて、空き家所有者に対し、固定資産税課税台帳情報を活用した、意向調査を実施
- 「ロコミ」「メディアやモデル物件を見て」「関係団体からの紹介」など、多様な媒体を通じて、相談総数が増加

今後の課題

- 空き家調査を行うエリアの拡大
- 相談業務について、事業としての継続性を確保するため、無償部分と有償部分の明確化と協力事業者の拡大

今後の事業展開

- 一般社団法人化による信用力の向上